令和８年　金沢市教育委員会議第８回定例会　会議録

１　日　時　　令和８年８月１９日（水）
開会　　１３時３０分
閉会　　１４時１０分

２　会　場　　金沢市役所　第二本庁舎　２階　２２０１会議室

３　出席委員（６名）

教　育　長	野　口　　弘	
教　育　委　員	大　島　淳　光	
〃	木　村　陽　子	
〃	長　澤　裕　子	
〃	櫻　吉　啓　介	
〃	山　本　英　輔	

４　欠席委員（１名）

教　育　委　員	丸　山　章　子	

事務局	事務局長	安　宅　英　一	
	担当次長（兼）教育総務課長	前　多　洋　一	（除く議案第２１号）
	教育施設課長	越　田　健　靖	（除く議案第２１号）
	担当次長（兼）学校職員課長	中　田　知　邦	（除く議案第２１号）
	学校職員課担当課長・管理主事（兼）課長補佐	中　田　義　成	（除く議案第２１号）
	担当次長（部活動地域展開担当）（兼）学校指導課長	作　田　芳太郎	（除く議案第２１号）
	学校指導課担当課長（兼）課長補佐	藤　田　亮　治	（除く議案第２１号）
	市立工業高校長	中　村　健　一	（除く議案第２１号）
	市立工業高校事務局長	今　井　信　也	（除く議案第２１号）
	生涯学習課長（部活動地域展開担当）	小　川　晶　子	（除く議案第２１号）
	図書館総務課長（兼）玉川図書館長	岩　﨑　友　代	（除く議案第２１号）
	金沢海みらい図書館長	水　由　謙　一	（除く議案第２１号）
	教育プラザ総括施設長 （兼）学校教育センター所長	熊　谷　有紀子	

（兼）特別支援教育サポートセンター所長

５　案　件

非　　議案第２０号　令和８年度金沢市議会９月定例月議会提出予定案件について
（教育総務課他）

非　　議案第２１号　令和９年度使用教科用図書（特別支援学級用教科書）の採択について
（学校教育センター）

報告第１６号　金沢市立工業高等学校と新北市立瑞芳高級工業職業学校との交流事業について　（市立工業高等学校事務局）

報告第１７号　金沢市図書館と全州市図書館生涯学習本部との「友好提携交流の展開に関する合意書」の再締結について　（図書館総務課）

そ　の　他

（１）次回の定例会議の日程について

６　議事の経過等　　以下のとおり

野口教育長の開議挨拶に続いて、傍聴希望者５名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名委員に山本委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が議案第２０号、議案第２１号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、報告第１６号、報告第１７号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、９月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第２０号、議案第２１号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

＊　９月の定例会議の日程：令和８年９月１７日（木）１３：３０～

［案件の説明及び諸報告について］

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

［主な質疑・応答の内容について］

○ 報告第１６号　金沢市立工業高等学校と新北市立瑞芳高級工業職業学校との交流事業について（市立工業高等学校事務局）

（説明の概要）議案書６ページ。瑞芳高級工業職業学校は、台湾の水利事業に尽くした八田與一技師が設立に携わった土木測量技術員養成所を前身とした学校である。６月の教育委員会議にて報告したとおり、今年７月２０日から７月２３日にかけて訪台し、本校生徒を初めて同校へ派遣し、ものづくりを通した生徒同士の交流を深めてきた。本校からは、さまざまな学科や学年の生徒１１名が参加した。

瑞芳高級工業職業学校は建築や機械の基礎に加え、人工知能の活用や半導体等の教育にも力を入れており、コンピューター数値制御による旋盤加工や空間測量に関する校内設備等を見学したほか、無人航空機の操縦体験や金属加工の実習を通して、両校の生徒による協働的な学びを推進してきた。

参加した生徒の感想は、「互いに言葉は通じなくとも、普段授業で学んでいる技術を使って交流することができて、有意義な経験となった」「半導体や人工知能に関する教育に学校が力を入れていることに驚いた」「事前に話は聞いていたが、台湾の人々がいかに八田技師を慕い、金沢市とのご縁を大切に思っていただいているのかを知り、感銘を受けた」など、それぞれ今回の交流を通して学びを深めている様子がうかがえた。

９月以降には、全校集会などでの生徒による活動報告や訪問記の寄稿を予定しており、今回の貴重な経験を全ての生徒で共有したいと考えている。

議案書７ページには、今回の訪問での生徒たちの様子を掲載した。
来年度以降についても、相互の派遣による交流活動を継続する旨、両校にて申し交わしたところである。

山本委員	非常に有意義な、生徒にとって貴重な経験だと思います。ご説明では来年度も交流を続けていくというお話でしたが、例えば、今度は台湾の工業職業学校の方からこちらに招くという計画も考えられておられるのでしょうか。
中村市工高校長	私が団長として引率してまいりました。向こうとは昨年度、前校長と教員１名、事務局２名、予察といえば予察なのですが、来年度訪問させていただきますというお約束を交わして、今年度、私が生徒１１名を連れて副校長ともども行ってまいりました。向こうと十分なお話はできなかったのですが、第一声は、「私たちは姉妹校です。だから私たちが来年、金沢へ行かせていただきます」というものでした。ただ、時期については、私どもが行ったときは向こうも夏休みで、学校にいたのはわざわざ私たちとの交流のために来ていただいた生徒と、あとは補習授業を受けていた生徒が数十名で、「来年はぜひ授業の様子や時期も考えて私たちが参りますので」というお返事を頂いてきたので、時期については今は申し上げられませんが、来年度は瑞芳の方が予算取りをして私どもの方に来ていただけるのではないかと思います。 変な話、みんなＬＩＮＥで全てつながっていて、それを中国語に訳して向こうに届けられているような状態なので、いつでもやりとりができます。お互いに工業高校で、ものづくりの大会やスポーツの大会等たくさんあるので、お互いにいい時期を選んで、これからの調整になるかと思いますが、必ず来てくれると思いますので、その節はよろしくお願いします。
長澤委員	ご説明ありがとうございました。瑞芳の学校の卒業生の進路について、どのような傾向があるかお聞きになりましたでしょうか。また、半導体や人工知能に関する教育に力を入れているということが生徒の感想にございましたが、この意図するものについて学校から何かお聞きになっていますでしょうか。
中村市工高校長	先ほども言いましたように、交流を第一の目的として私どもは参りましたので、ぜひ質問の時間を取ってくださいと通訳にお願いしたのですが、私も個人的に入試の状況や就職の状況を聞きたかったのですが、はっきり申し上げて就職の状況は分かりません。ですけれども、私なりにインターネット等で調べてみるに、私は生徒が９００名いると思って行ったのですが、生徒の総人数だけは教えてもらって７００名ぐらいだとおっしゃったので、どこも少子化で子どもの数が激減していることや、日本の入試と台湾の入試はちょっと形が違っていて、中３のときに全国調査のようなテストを受けて、その成績順で学校が割り振られるというような情報もありました。ご質問の答えになっていないのですが、就職の状況まで今のところお答えすることができませんが、ぜひ来年来られたら、今度は私どもの方から幾つかの質問を用意しておきたいと思います。 ＡＩについては、学校の新聞等をたくさん頂いてきたので、それを翻訳機能で読み込んでの答えなのですが、ＡＩは確実に日々進歩しているけれども、私たちの学校は手に職を付けて技術を大事する学校だということが校訓として掲げられていて、最終的には人間の力だということをすごく訴えている感じを新聞等からは受けました。私どもの市立工業では、電子制御的なプログラミングの力は確実に付いてきていますが、そこにＡＩを導入しているかというと、そういうわけではありません。これからはあると

	思いますが。瑞芳の方は、ＡＩをどれくらい導入しているのかとか、プログラミングにしても、確実に私どもの学校とは電子機器の量が格段に違います。校舎というか校地も私どもの２倍ぐらいあるかもしれませんが、至る所に電子黒板なのか大型電子板なのかがあって、授業で使っているのか研究の成果なのか分かりませんがロボットアームもあって、私どももこういうものを買っていただけたらうれしいなと思いながら帰ってきました。そこはまた皆さんのお力でよろしくお願いします。
木村委員	生徒１１名というのは、何年生とか、どういう人が選ばれたのか教えていただけますか。
中村市工高校長	私どもは１０名を予定して応募をかけました。希望者は１年生が７名、２年生が３名、３年生が１名だったと思います。全て面接したのですが、１名落とすのは申し訳ないということで、予算に限りはあったのですが、１１名全員を連れていきました。２年生にとっては台湾の修学旅行も控えていて、修学旅行では瑞芳高級工業職業学校には行かないのですが、そこにぜひ行きたいという子も２年生にはいましたし、既に台湾修学旅行を終えた３年生の１人も、もう１回台湾に行きたいということで積極的に応募してくれた子なので、みんな自分で行きたいと言った生徒を連れていきました。
木村委員	生徒の感想にあった、言葉が通じなくても技術を使って交流ができるということは素晴らしいことだと思いますし、これからの時代の最先端を行っているような感じが見受けられて、これは続けていかれたらいいなと感じました。
中村市工高校長	また再来年、私がいれば台湾に行きたいですし、来年は盛大にお迎えしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします。

○ 報告第１７号　金沢市図書館と全州市図書館生涯学習本部との「友好提携交流の展開に関する合意書」の再締結について（図書館総務課）

（説明の概要）議案書９ページ。金沢市図書館と姉妹都市である韓国・全州市図書館は、平成２７年に締結した「友好提携交流の展開に関する合意書」に基づき、定期的に図書を贈り合い、職員が交流するなどして図書館サービスの参考にするとともに、市民の姉妹都市に対する理解と友好を深めてきた。

先般、図書館関係者が村山市長を団長とする市代表団の一員として全州市を訪問し、姉妹都市図書館交流を一層推進するとともに、姉妹都市友好交流のますますの発展に寄与するため、締結から１０年余りを経た合意書について、社会情勢の変化に対応して内容を見直した新たな合意書を締結してきた。

合意書の締結式は８月１１日に全州市長室で行われ、全州市図書館の姉妹都市交流担当である全州市図書館生涯学習本部長と金沢市図書館の姉妹都市交流拠点館である金沢海みらい図書長が締結した。

新たな合意書の内容は、従前の合意書に近年急速に普及した電子書籍等の「デジタル資料の活用」に関する文言を追加することに加え、締結から１０年余りたつ間に全州市の機構が変わり、交流担当が「全州市立完山図書館」から「全州市図書館生涯学習本部」になったため、実態に合うように相手方を変更した。また、締結式に合わせて、韓国語に翻訳された日本人作家の絵本２５冊を全州市図書館へ寄贈した。

その他、夜間の集客に取り組み、夜景スポットとして有名な蓮花亭（ヨンファジャン）図書館をはじめ、全州市の複数の図書館や文化施設を訪問してきた。

議案書１０ページに、締結式の様子や訪問した図書館等の写真を載せている。

今後は新たな合意書を基に全州市図書館と情報交換などを行い、より一層姉妹都市図書館交流及び本市の姉妹都市友好交流に努める。

長澤委員	蓮花亭図書館の夜間の取り組みを見学されたということですが、夜間の図書館というのはどういうコンセプトで運営されているのか、また、実際にご覧になってのご感想などをお聞かせいただければと思います。
水由金沢海みらい図書館長	蓮花亭図書館は、かつては遊園地であった徳津（トクチン）公園の池の中心に位置する韓屋型の図書館です。２０２２年６月に開館し、図書館空間と文化空間及び憩いの場としての役割を果たす蓮花楼（ヨンファル）で構成されています。韓屋の美しさと伝統美が際立ち、夏には池いっぱいに蓮の花が咲き誇り、特に夜景スポットとして人気があります。館内には韓国の美と全州のアイデンティティに関するさまざまな書籍が配備されており、われわれも夜間に市長と共に訪れたのですが、夜間の観光振興という意味では非常に集客力のある施設だと思いました。図書館だけでなく、徳津公園自体は十数年前から段階的な整備をしており、十数年前に池の噴水を整備したのち、夜間照明も整備して、２０２２年には趣のある図書館が完成しました。私たちが行ったときも観光客と市民で非常に賑わっていました。全州市の図書館は、文化行政の核として位置付けられており、地域おこし、観光振興の中に位置付けられていると感じました。
長澤委員	蓮花亭図書館に訪れる方々の年齢層や目的に特徴はございましたか。
水由金沢海みらい図書館長	昼間はどちらかというと観光客が多いという印象があります。夜は観光客もいますが、市民のくつろぎの場になっていて、全州市図書館の職員におききしたところ、市民と観光客の両方に来ていただきたいとおっしゃっていました。実際に、市民と観光客が同じくらいの割合で来ているという印象がありました。
長澤委員	とても興味深いお話を聞かせていただいたと思います。そういう運用をご覧になって、金沢の図書館に取り入れたいとか、面白いと思われたポイントはございましたか。
水由金沢海みらい図書館長	いろいろな施設を見せていただきましたが、２０１９年に整備された本部館である全州市立図書館コッシムは、１２～１６歳の図書館利用が低い傾向にある若年層向けの専用スペース「ウジュロ１２１６」を設けていて、そこでは子供たちが読書や運動、芸術活動などを行え、不登校児も立ち寄れるような交流エリアになっていました。対象年齢は少し違いますが、金沢市でいうと、長土塀青少年交流センターの中にあるかなざわユースセンターに図書コーナーを加えたような施設が図書館と同じ建物に入っているようなイメージです。こういうものはユースセンターと図書館を掛け合わせた施策として研究してもいいのかなと思いました。
山本委員	合意項目の中で、「『デジタル資料の活用』に関する文言を追加」とあります。もう少し具体的に教えていただきたいのですが、これはお互いに持っているデジタル資料を例えばオンラインで閲覧できるということなのか、あるいは、デジタル資料というものがどういうものがあるのかも気になるところです。例えば、韓国語で書かれている歴史資料などがあったとして、それをＡＩで翻訳してわれわれが読むことができるとしたら非常に面白いことですし、他にもいろいろな活用の仕方があると思いますので、その点、何かお考えになっていること、議論されてきたことを教えていただければと思います。

岩﨑図書館総務課長	訪問するに当たって、事前に全州市図書館と話を重ねてまいりました。この中で「デジタル資料の活用」について話をする間に、こちらの持っているデジタル資料の形式と韓国のデジタル資料の形式が違うことがわかりました。それまでは山本委員がおっしゃったような交流もできないかとお互いに検討していたのですが、今の段階では難しいので、今回はひとまず情報を交換することで互いのサービスを充実させていきましょうとなった次第です。

以　上

会 議 録 署 名

教　育　長　＿＿＿署　名＿＿＿

教 育 委 員　＿＿＿署　名＿＿＿

（山本委員）

［非公開議案の審議結果について］

○ 議案第２０号　令和８年度金沢市議会９月定例月議会提出予定案件について（教育総務課他）

審議結果についても非公開

○ 議案第２１号　令和９年度使用教科用図書（特別支援学級用教科書）の採択について（学校教育センター）

審議結果についても非公開

以　　上